



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月7日

上場会社名 大伸化学株式会社
 コード番号 4629 URL <http://www.daishin-chemical.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 杉浦 久毅
 (氏名) 山口 利美

TEL 03-3432-5872

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	22,555	13.4	617	△32.8	643	△31.5	423	△31.1
30年3月期第3四半期	19,894	9.9	919	△45.0	939	△44.1	614	△45.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	92.50	—
30年3月期第3四半期	134.45	134.33

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	21,407		11,783			55.0
30年3月期	19,741		11,530			58.4

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 11,783百万円 30年3月期 11,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
31年3月期	—	0.00	—		
31年3月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	12.7	880	△22.2	900	△22.1	591	△21.9	129.17

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、6ページ「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期3Q	4,592,000 株	30年3月期	4,592,000 株
31年3月期3Q	16,720 株	30年3月期	16,719 株
31年3月期3Q	4,575,281 株	30年3月期3Q	4,567,281 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報をもとに行った見込みであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善が続き、景気は緩やかな回復基調に推移いたしました。米中貿易摩擦による世界経済の下振れリスクや中東地域における地政学リスクの高まりなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社が主として関連する塗料業界におきましては、こうした経済環境のもと、出荷数量は前年並みの水準となりました。

このような情勢のもとで、当社における当第3四半期累計期間の製品出荷数量は、126,270トン(前年同期比0.9%増)となりました。

当第3四半期累計期間の業績といたしましては、売上高は新規需要開拓等により製品の出荷数量が増加したことや国内の原油・ナフサ市況が前年に比べて高水準で推移したことにより販売単価が上昇したため、225億55百万円(同13.4%増)と増収となりました。

主な品目別の売上高は、ラッカーシンナー類が5億56百万円(同1.7%増)、合成樹脂塗料用シンナー類が4億57百万円(同3.7%減)、洗浄用シンナー類が13億90百万円(同8.1%増)、印刷用溶剤類が38億77百万円(同13.8%増)、特殊シンナー類が24億43百万円(同10.7%増)、単一溶剤類が99億8百万円(同16.8%増)、塗料・その他が11億47百万円(同7.4%増)、単一溶剤を中心とした商品が27億73百万円(同14.6%増)となりました。

一方損益面では、効率的な原材料購入の推進及び新規需要の開拓等に努めましたが、前年と比較して原油・ナフサ市況が高水準で推移したことが原材料コストの増加要因となり、営業利益6億17百万円(同32.8%減)、経常利益6億43百万円(同31.5%減)、四半期純利益4億23百万円(同31.1%減)と、いずれも減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は、214億7百万円(前事業年度末比16億66百万円増)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加(同8億18百万円増)、電子記録債権の増加(同7億7百万円増)、有形固定資産の増加(同1億70百万円増)等があったことによるものであります。

負債総額は、96億24百万円(前事業年度末比14億13百万円増)となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加(同11億9百万円増)、短期借入金の増加(同3億円増)、長期借入金の増加(同2億77百万円増)等があったことによるものであります。

純資産は、117億83百万円(前事業年度末比2億52百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金の増加(同2億85百万円増)等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年11月8日に公表いたしました「平成31年3月期第2四半期累計期間における業績予想値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で発表したとおりであります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465,600	2,550,779
受取手形及び売掛金	9,315,276	10,133,711
電子記録債権	1,554,346	2,262,081
商品及び製品	137,478	168,449
原材料及び貯蔵品	740,740	731,888
その他	208,428	123,053
貸倒引当金	△6,008	△6,842
流動資産合計	14,415,862	15,963,121
固定資産		
有形固定資産	3,949,340	4,120,003
無形固定資産	71,158	61,219
投資その他の資産		
その他	1,333,904	1,292,269
貸倒引当金	△28,833	△28,709
投資その他の資産合計	1,305,070	1,263,559
固定資産合計	5,325,568	5,444,782
資産合計	19,741,431	21,407,904
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,671,270	7,780,417
短期借入金	—	300,000
1年内償還予定の社債	70,000	70,000
1年内返済予定の長期借入金	119,500	183,600
未払法人税等	107,062	37,934
賞与引当金	134,300	69,330
その他	547,832	373,098
流動負債合計	7,649,965	8,814,380
固定負債		
社債	70,000	35,000
長期借入金	180,000	457,100
退職給付引当金	138,639	132,519
役員退職慰労引当金	159,025	172,150
その他	13,200	13,200
固定負債合計	560,864	809,969
負債合計	8,210,830	9,624,350

(単位:千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	729,000	729,000
資本剰余金	675,537	675,537
利益剰余金	10,026,554	10,312,488
自己株式	△12,406	△12,407
株主資本合計	11,418,686	11,704,618
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	111,914	78,935
評価・換算差額等合計	111,914	78,935
純資産合計	11,530,600	11,783,553
負債純資産合計	19,741,431	21,407,904

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	19,894,585	22,555,920
売上原価	16,619,664	19,519,029
売上総利益	3,274,920	3,036,891
販売費及び一般管理費	2,355,148	2,418,961
営業利益	919,772	617,929
営業外収益		
受取利息	200	185
受取配当金	12,890	14,713
その他	14,956	16,529
営業外収益合計	28,047	31,428
営業外費用		
支払利息	2,324	2,475
手形売却損	4,112	2,331
社債利息	1,573	1,033
その他	67	—
営業外費用合計	8,077	5,840
経常利益	939,742	643,517
特別利益		
固定資産売却益	1,279	1,583
特別利益合計	1,279	1,583
特別損失		
固定資産売却損	212	177
固定資産除却損	19,312	2,735
特別損失合計	19,524	2,912
税引前四半期純利益	921,497	642,187
法人税等	307,411	218,995
四半期純利益	614,086	423,191

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

当社の事業は、シンナー製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。